

はちの医師会の手紙

NO. 666

令和 7 年 8・9 月号

八戸市医師会



巻頭言 八戸地域の消防・救急体制について

(表紙題字：元八戸市医師会理事 小坂 康 美)

目 次

表紙絵解説	下村正太郎	2
☆巻頭言☆		
八戸地域の消防・救急体制について	大野喜代治	3
令和7年7月定例理事会		4
令和7年8月定例理事会		16
☆学 術☆		
第300回青森県南皮膚科医会学術講演会		28
第481回八戸外科集談会		29
第168回八戸糖尿病談話会		30
青森県医師会生涯教育講座		31
第36回日本小児科医会総会フォーラム in KOBE		32
第37回東北学校保健・学校医大会		33
第47回日本産婦人科医会性教育指導セミナー全国大会		34
☆臨床検査・診療メモ☆ 自閉スペクトラム症について		35
人・ひと		37・39
☆倶楽部だより☆		
八戸市医師会ゴルフニュース（第4報）		41
八戸市医師会ゴルフニュース（第5報）		43
没後百年、青春の書のベストセラー作家・		
大町桂月の生涯と功績（第2回）	三 川 博	45
八戸市立学校西地区給食センター見学	金 田 裕 治	47
八戸市医師会立八戸准看護学院令和8年度学生募集要項		50
八戸市休日夜間急病診療所利用状況		51
デーリー東北新聞社提供	52・53・54・55・56・57・58・59	
研修〜リレー日誌〜		60・61
理事紹介		63
会員消息		67
事務局日誌メモ		68
行事予定		69
編集後記		70

表紙絵解説

ひまわり（花言葉は・憧れ・情熱 あなただけを見つめる）

今年は暖かい日が続いたので昨年より早めに咲いた気がします。愛情表現に持ってこいの花ヒマワリです。

1本は 一目ぼれ・2本は あなたと2人の世界・3本は 愛の告白・6本は あなたに夢中・7本 密かな愛

9本 いつも一緒にいよう・11本 最愛・12本 恋人・妻になって下さい。

50本 あなただけを見つめる（プロポーズに人気の花）・99本 永遠の愛
ずっーと一緒にいて下さい。

100本 100%の愛・108本 結婚しよう・999本 何度生まれ変わっても君を愛している。

私が見えるの、年齢が高いから1個だけかな。皆さんはたくさんありますよね。

（下村正太郎）

巻 頭 言

八戸地域の消防・救急体制について

八戸地域広域市町村圏事務組合 消防本部 消防長

大 野 喜代治

近年、災害は激しさを増し、発生頻度も高まっています。令和6年には石川県能登地方で震度7の地震が発生したほか、台風第10号の影響により、西日本から東日本の太平洋側では記録的な豪雨が発生。さらに9月には石川県に線状降水帯が発生し、復興途中の能登地方に再び甚大な被害がもたらされました。

八戸地域においても、過去にチリ地震津波（昭和35年）、十勝沖地震（昭和43年）、三陸はるか沖地震（平成6年）、そして東日本大震災（平成23年）など、自然災害の脅威に直面してきました。

このような自然災害のほか、昨今は都市構造等の変化に伴う想定外の事故や救急出動件数増加への対応、更には救急業務高度化への対応等も重要な業務となっています。

この度、このような機会をいただきましたので、消防分野のあらゆる課題に対応しながら、これまで築いてきた当消防本部の消防体制、及び救急業務の高度化、ICT化への対応状況について、ご紹介します。

まず、当消防本部の消防体制は、八戸地域8市町村の地域住民約30万人の生命、身体、財産を守るため、1本部、5消防署、5分署、8分遣所で組織され、職員431名、消防ポンプ自動車等の災害対応車34台、救急車16台を配備し、住民の負託に応えるよう日夜、防災の任務にあたっています。

平成24年から運用を開始した「高機能消防指令センター」では、正確な情報確認と迅速な指令を実現するシステムで、災害現場到着までの時間を短縮しています。さらに、指令情報や出動車両の動態、地図、水利などの情報を共有することで災害現場において、迅速な対応が可能となりました。また、言葉や耳の不自由な方にも配慮し、FAXやメールによる119番通報に加え、スマートフォン等を通じた「NET119緊急通報システム」など多様な通報手段を導入しています。これにより、誰もが安心して通報できる体制が整っています。

平成29年には八戸市の中核市移行に伴い、青森

県内で2番目となる「高度救助隊」が発足しました。最新の救助資機材を搭載した車両と、専門的な教育を受けた隊員が火災や交通事故、自然災害などさまざまな場面で活躍しています。

次に、救急業務の分野については、救急救命士法の制定を契機に、当消防本部では平成4年から救急救命士の運用を開始し、救急医療の高度化に取り組んできました。開始当初は、電氣的除細動・静脈路の確保・器具による気道確保といった限られた処置が中心でしたが、現在では処置範囲が大きく拡大されています。

具体的には、心肺停止傷病者に対してアドレナリン製剤の投与や、気管内チューブを用いた気管挿管が可能となり、より専門的かつ迅速な対応が行われています。また、心肺機能が停止する前の段階での輸液処置、低血糖傷病者へのブドウ糖溶液製剤の投与など、幅広い症状に対応できる体制を整えています。

さらに、重篤な外傷・脳卒中・急性冠症候群など時間的猶予が少ない救急事案については、ドクターヘリ・ドクターカーとの連携を積極的に図り、救急車内で12誘導心電図の測定・伝送を行うことで、医療機関での初期治療開始を大幅に早める工夫も進められています。

また、高齢化に伴い、救急車の利用が増える中、地域包括ケアの一環として、医療・介護の専門職が情報を共有するICTツール「メルタス」の活用が進んでいます。この取り組みは八戸市独自のネットワーク「connect8」にも拡張されており、令和7年3月からは救急隊もこのネットワークに参加させていただき、在宅療養中の高齢者などが急変した際にも、迅速かつ適切な対応が可能となり、地域の安心感がさらに高まっています。

これからも当消防本部では、八戸地域の皆様に寄り添いながら、様々な消防需要に柔軟に対応し、地域住民の安全・安心のため、どんな状況でも迅速かつ的確に対応できる消防・救急体制を目指してまいります。